

さぁ新米まであと1ヶ月！お盆が過ぎ、稲穂がほんのり色づき始めています。皆さまはどのような夏をお過ごしでしょうか。

先月、皆様にご協力をお願いした、福島の子供たちをO2Farmに招待しようという企画。たくさんの方からカンパを頂きました。本当にありがとうございます！！ところが、いざ福島の子供たちを招待しようと思っても、希望者が見つからないという事態に直面しています。なんでも、被災地の子供たちには全国各地からだけでなく、海外からも招待の案内が来ているのだそうで、先日水害に見舞われた阿蘇は不人気だった模様。旅費の問題さえ解決すれば来てもらえるものだと思っていた私たちは予想外の事態に驚いています。今は、児童福祉施設のお子さんに介護者と一緒どうぞ、とお声がけしているところです。皆さんからのご好意は必ず当初の目的どおりに使わせていただくつもりですので、またご報告させていただきます。



福島の子供たちにはまだ来てもらえていませんが、夏休みを利用してあちこちからたくさんの子供たちやご家族が遊びに来てくれています。7月下旬には、昨年につき「子供合宿」を実施。横浜から2人、熊本市内から3人の子供たちが来て6日間O2Farmに滞在し、我が家の3人に負けないくらいのリトルファーマーズになってくれました。去年は「水」をテーマとした環境教育を狙っていたので、火口を見に行ったり、水の科学館に行ったりとお出かけプログラムが多かったのですが、終わったときに「もっと田んぼや畑で遊びたかった」と子供たちに言われてハッとしました。お出かけは家族でもできる。ただ自然の中でのびのびしたいんだ、と気づかされたからです。そんなわけで、今年は田畑で泥んこになることが最大の目的。「一緒にお仕事する～」と張り切っていた子供たちですが、もちろんメインは虫取りや水路遊び。草を1本抜いて、カエルを3匹捕まえて…といった具合です（笑）。牛の世話や鶏の解体も体験。「帰りたくない」という子供たちを何とか説得して、来年また来てもらうことにしました。





稲穂が出たら、実りを邪魔しないように田んぼには入りません。左の写真の白いものがお米の花です。草との闘いはひとまず終わりです。が、自然との闘いは続きます。この時期はモグラやオケラが活発に穴を開けるので、水を溜めてもすぐに抜けてしまうこともしばしば。そんな時は、田んぼの周りを慎重に歩き、水漏れしているところを見つけて穴をふさぎます。直径がたった数センチの穴を

広い田んぼの中から見つけるのは大変。「田舎で暮らすようになってから五感が鋭くなってきた」という耕太に教わりながら、私もようやく怪しいところを見つけられるようになって来ました。



稲穂が垂れたら、無事に実が入ってきた証拠。ところが、次の心配が…。ずばりイノシシやスズメです。たかがスズメと侮るなかれ。何せ数が多いのです。彼らにとっては目の前にご馳走が並んでいるわけですから。イノシシは年々被害が大きくなっています。電柵をはりめぐらすも、どこからか入り込んできます。ネットも食い破られていました。お米を食べるだけではなく、ただ遊んでいくのでたちが悪い。イノシシが入ったところは稲が倒され、どうしようもなくなってしまいます。むむむ・捕えて食べてやる～！！稲刈り前の台風も心配で、「ここまできたら大丈夫」とはいかない稲作ですが、来月には新米をお届けできるよう、最後まで気を抜かずがんばります。皆さんもぜひ、無事に収穫できることを祈って下さい。



先週から、ドイツ人一家が遊びに来てくれています。私たちがドイツに留学していた頃、お世話になった家族です。観光するのかと思いきや、田んぼの見回りや、動物たちの世話をせっせと手伝ってくれます。お盆の前には一緒に障子張りもしました。子供たちは言葉が通じなくても仲良く遊んでいます。ヨーロッパではクリスマスが家族や親戚が集まる行事。お盆と同じです。どこでもやることは一緒だね、と言いながら大いに食べて飲んで、にぎやかに過ごしました。



最後に来年度のお届けについての連絡です。年間予約をいただいている方には、このまま来年度も同様にお届けさせていただきます。もし数量や種類の変更、キャンセルなどございましたら、振替用紙の通信欄にご記入いただくか、電話、ファックス、メールなどでご連絡を下さいますようお願いいたします。一年間のご愛顧まことにありがとうございました。また来年度もどうぞよろしく願いいたします。



梅雨が過ぎると、お米の中に虫が発生しやすくなります。コクゾウムシやガなど、昔の米びつには普通にいたものばかりです。栽培中も保管中も、害虫駆除はしておりませんので、どうぞご理解下さい。それでは皆さま夏バテや夏風邪にお気をつけ下さい。